琉球大学学術リポジトリ

草稿『南洋群島の研究』第七章 政治 第四節 委任統治

メタデータ	言語:
	出版者:
	公開日: 2018-04-16
	キーワード (Ja): 矢内原忠雄
	キーワード (En): Yanaihara Tadao
	作成者: 矢内原, 忠雄
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38073

矢内原忠雄文庫

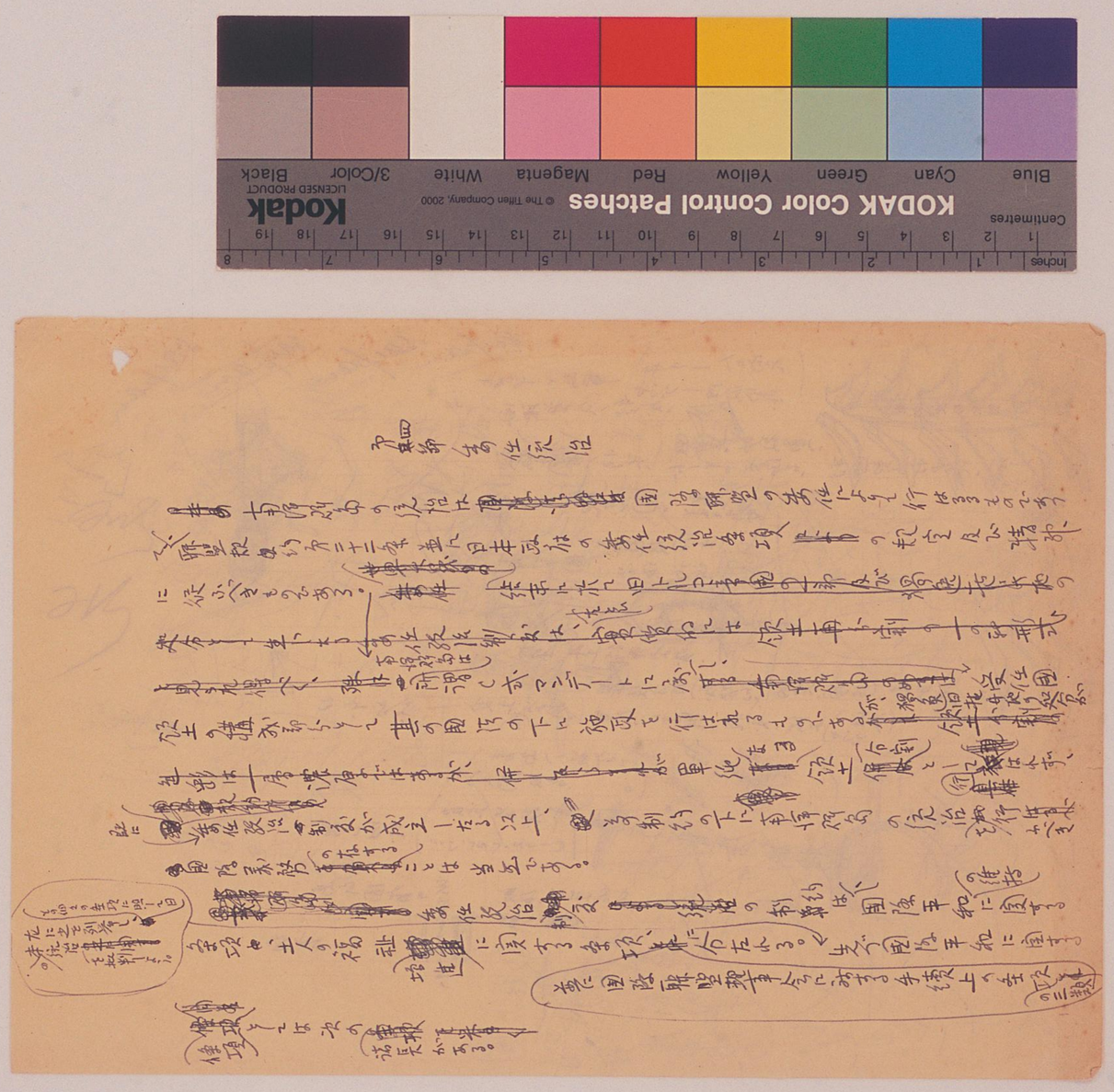
史料名	草稿『南洋群島の研究』第七章 政治 第四節 委任統治
封筒番号	246
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 14 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

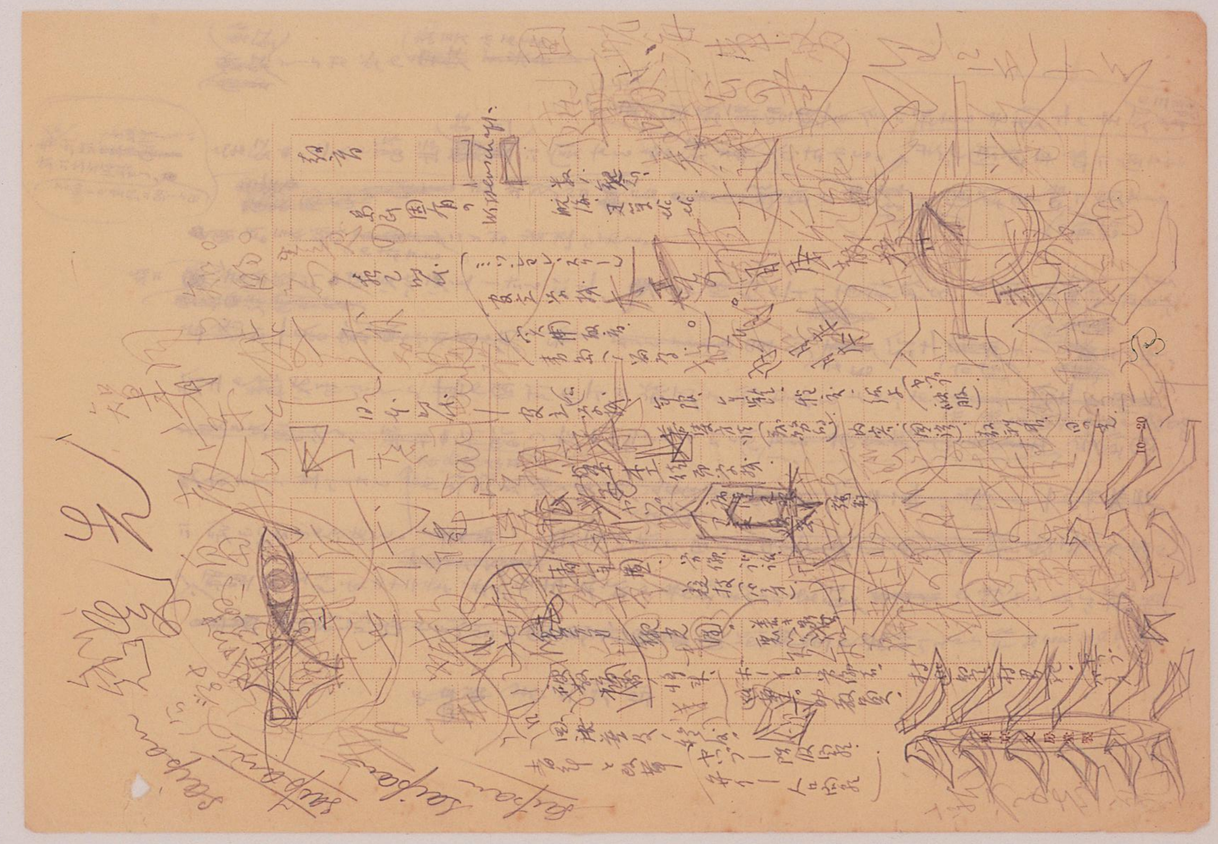
矢内原忠雄文庫

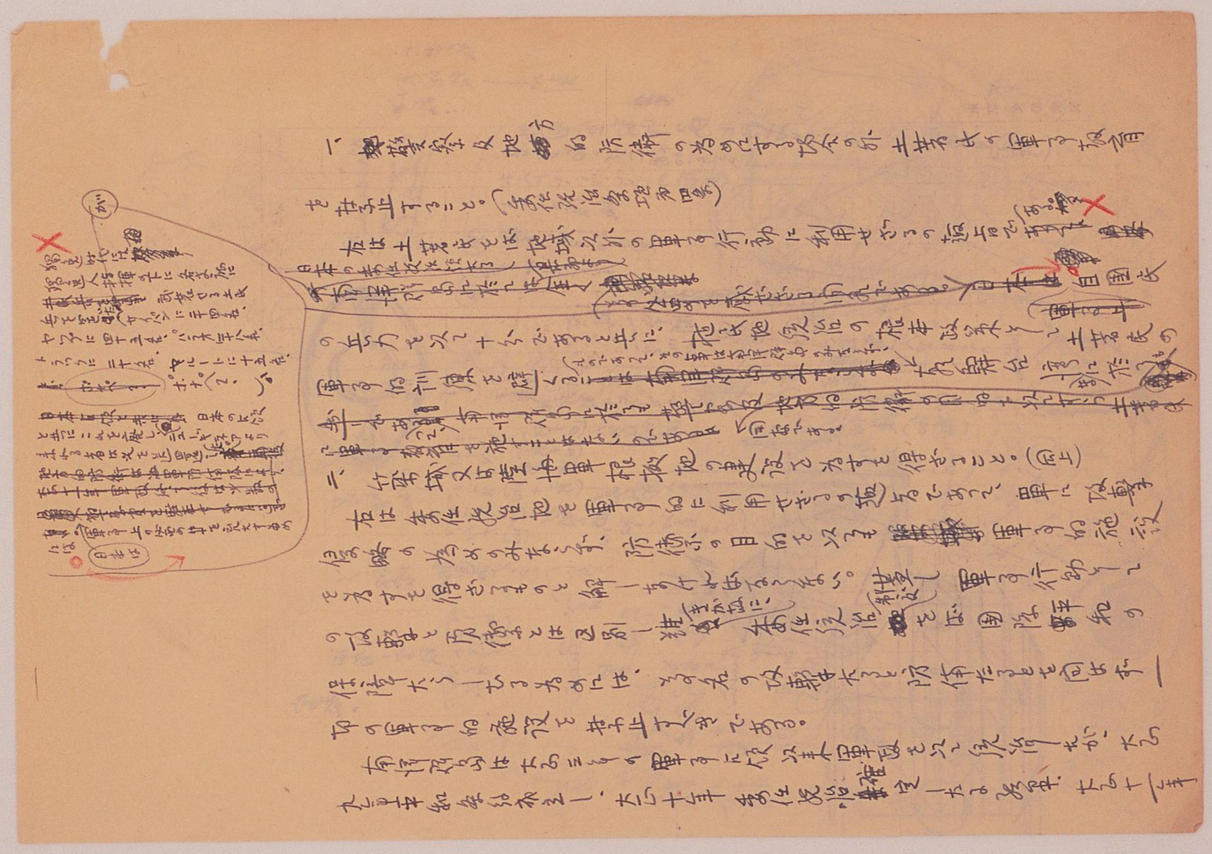
封筒番号： 246

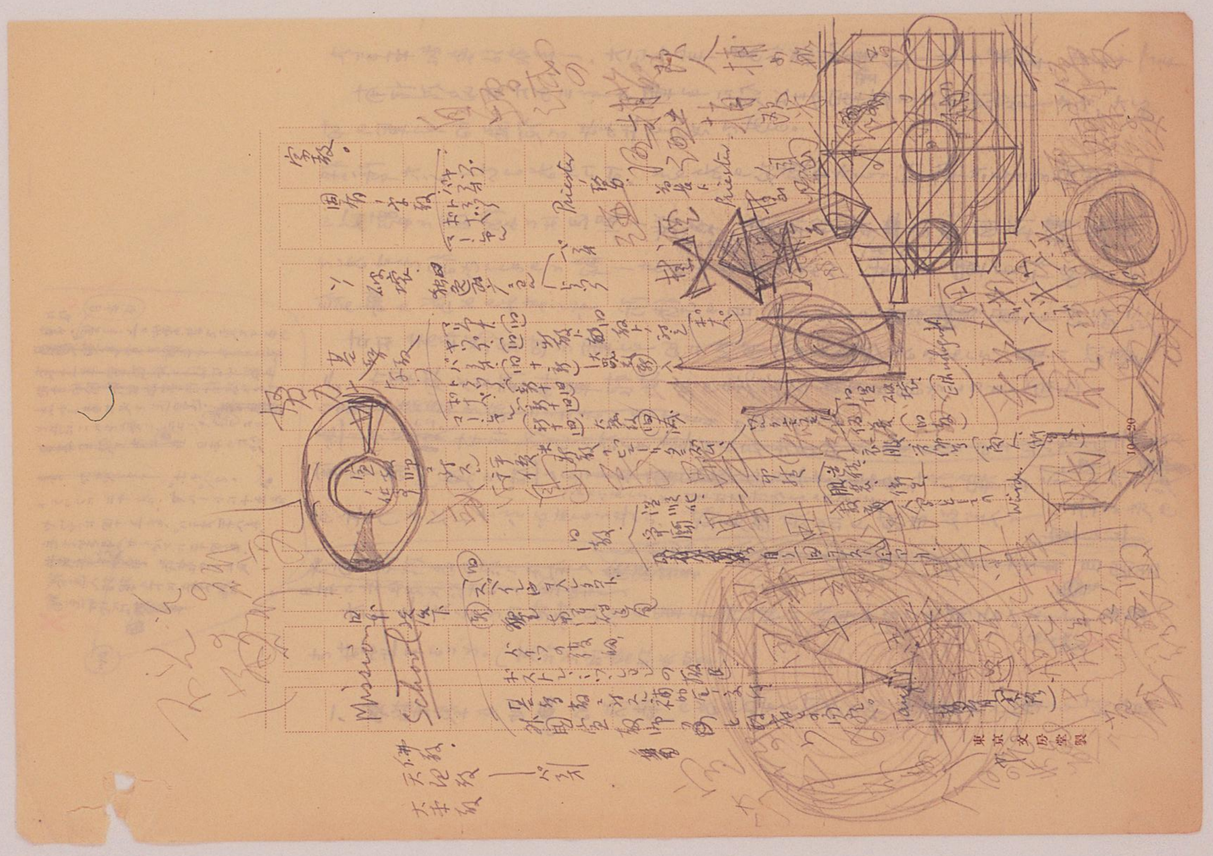
史料名	草稿『南洋群島の研究』第七章 政治 第四節 委任統治
資料形態	B5原稿用紙
枚　数	18
頁　数	36
縦（cm）	
横（cm）	
厚さ(cm)	
書誌的事項	南洋 7枚目は新聞記事の切り抜き。全頁に裏書きあり。 今泉分類記号： Y

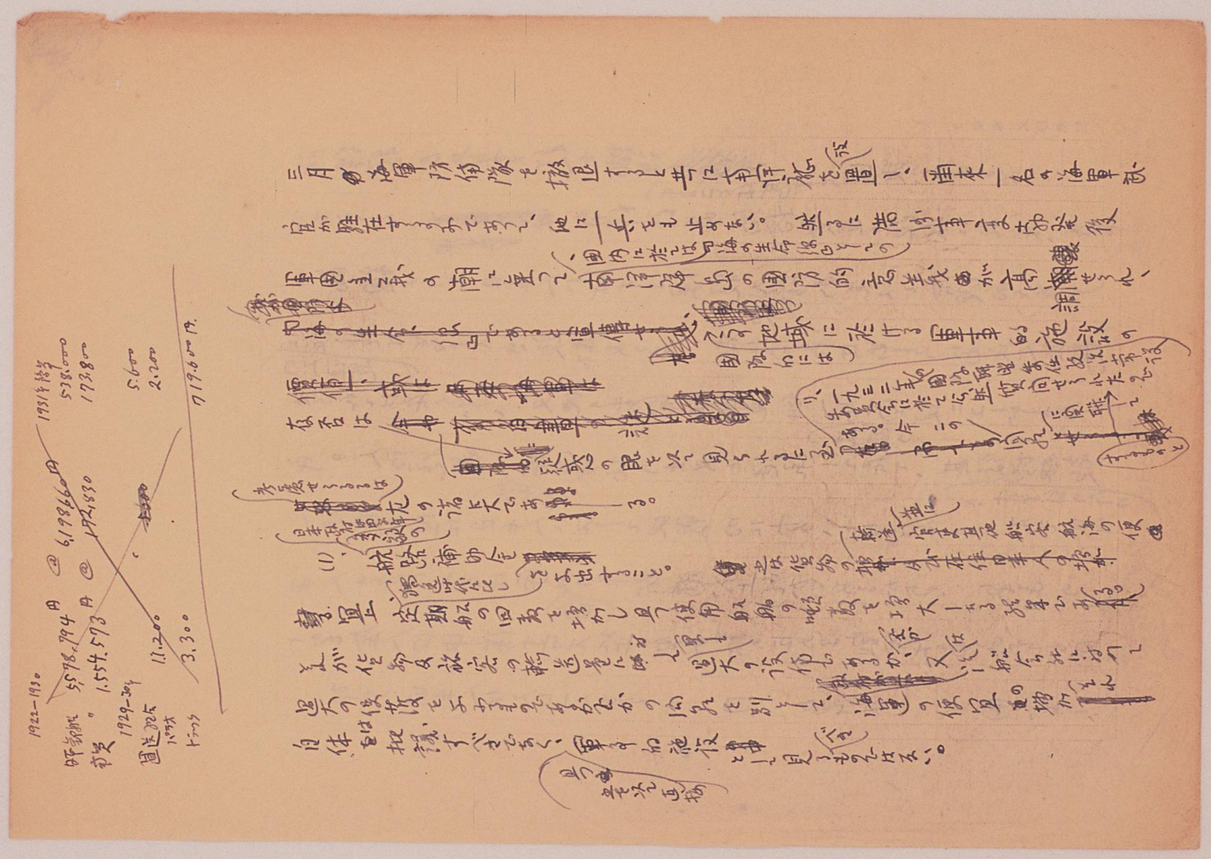
琉球大学附属図書館

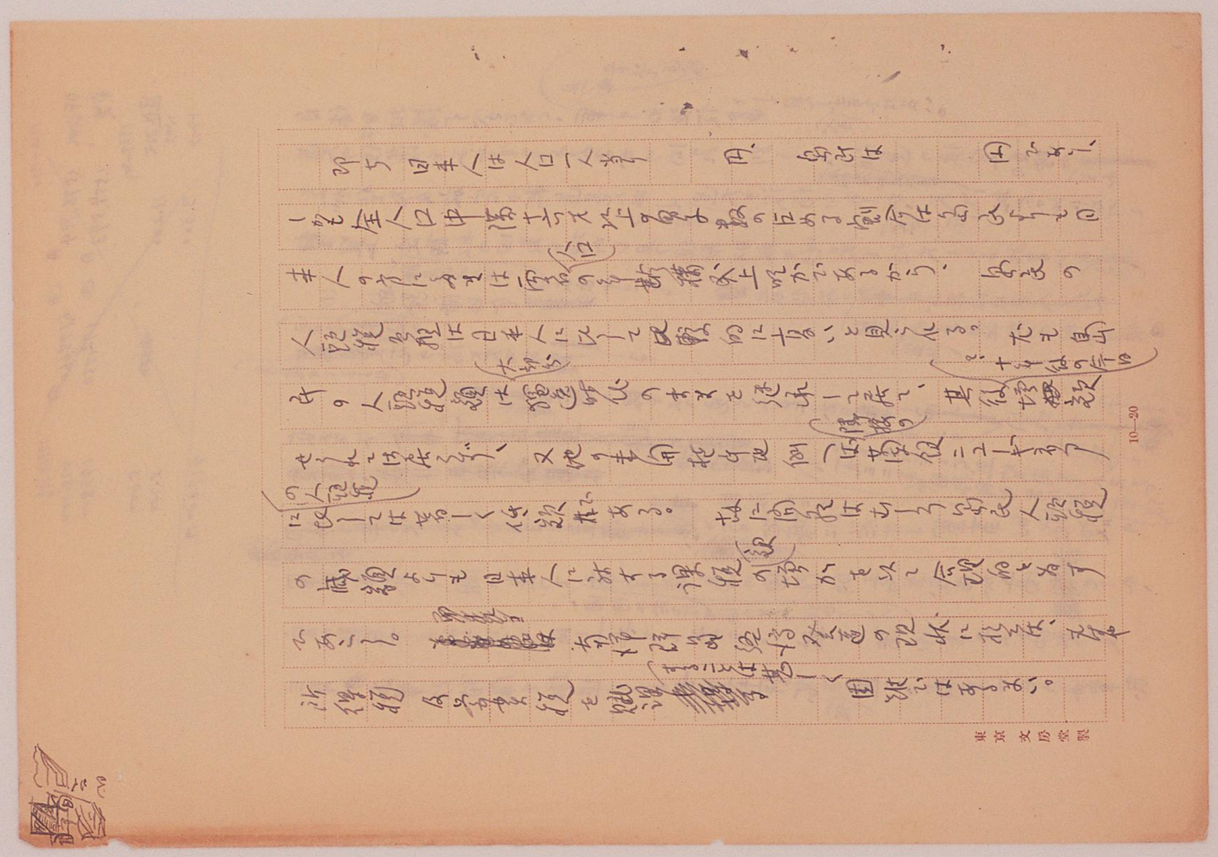












東京文化學製

10—30

南洋利益

(2) 多額の港費に悩む事実を挙げよう。昭和二年度の港費総額は第一
は再開二六、三〇四円であるが、二年後の統計は五二、一六〇円に膨脹した。
次に港湾費は甲、乙、丙、丁の三港に関するものであるが、甲港費は
五千五百円(一九三六年)度より開始し、爾来一万二千円に増加
一万円に増加し、昭和一〇年度より一万三千円に増加する筈である。
乙港費は甲、乙、丙、丁の三港に関するものであるが、甲港費は
一万円に増加し、昭和一〇年度より一万三千円に増加する筈である。
丙港費は甲、乙、丙、丁の三港に関するものであるが、甲港費は
一万円に増加し、昭和一〇年度より一万三千円に増加する筈である。
丁港費は甲、乙、丙、丁の三港に関するものであるが、甲港費は
一万円に増加し、昭和一〇年度より一万三千円に増加する筈である。
以上港費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍
に増加する筈である。次に公共建築費は昭和二年度より四倍、五倍、六倍、七倍、八倍、九倍、十倍

東京文原稿用紙

[illegible]に[illegible]思[illegible]始めてはいた。[illegible]

[illegible]の思[illegible]は[illegible]

[illegible]

[illegible]

ほにはこの法解決は明治十六年、一二五円で買ひ戻されますが、立法同盟（名に於ける）教育勅語奉戴機関の出現であって、次上の法律の何れも何れも

国産奉上の目的を有する法令は施行であって、海軍拡張だって元来を

有するものなり。米国人クライド博士も現地調査の結果、海軍拡張

（一九三四年）

（B）

論者の見解の相違をここでは、日本のために説明一致する（Clyde.

）

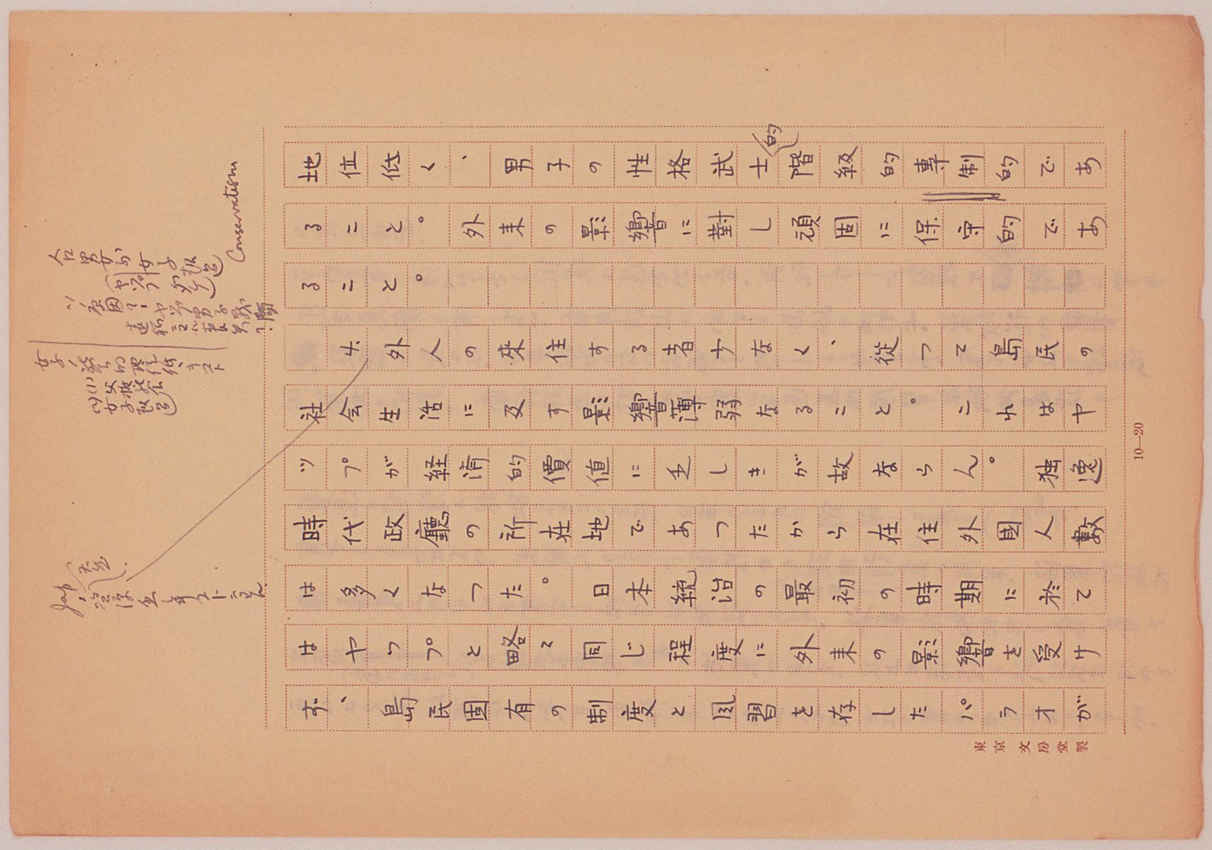
(3) 統帥の問題。南洋諸島に於ける要塞設置其他軍事拡張要塞の

問題に対しては、日本政府の公に否認する。然るに事実上、僅かに

少数員数を有一する。南洋諸島にあるる島嶼の使用上、学校教育の

ある会社有の場合なる国況に過ぎおる事、前記クライド博士の論説は補説

と言う（同上）。



が、島民固有の制度と風習を存したパラオが時代政廳の所在地であつたから在住外國人數は十ツプと略々同じ程度に外来の影響を受け多々なつた。日本統治の最初の時期に於て社会生活に及す影響頗弱なること。これは十万人の來住する者少なく、従つて島民のみなる事。外来の影響に對し頑固に保守的である事。男子の性格武士的階級的專制的である事、婦人の地位低く、

10—20

東京文珍堂製

（昭和五十四年度）

次のような国庫の負担金交付の日程案は、計画が立てられている。計画に基づき順調に推移する。

（イ）

ハ、木、キ、ハ、及び日本ニの共同事業、一、二、三、三〇〇〇〇円を計上し、ハ、木、ハ、ハ、ハ

ップ島民人口の絶對的減少も最も多く說明する鍵である。（「開拓…」オ五号五四頁、藤井氏調査、同六号六五―六九頁）

しての疾病、

ハヤップに於ける低出生率高死亡率の原因と

2. ヤップの土地生産力の貧弱なること（他の小離島も參照）

土地の痩せねること、柿子樹の虫害、風害

高瀬貝採集に就てパラオとヤップとの差

3. ヤップが天惟社會であつて女子の社會的

東京文理大學

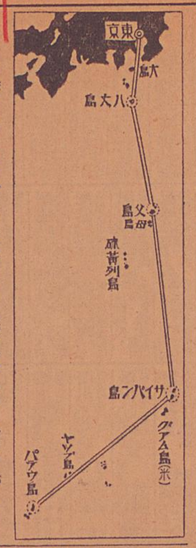
（第三種郵便物認可）　昭和九年十二月十四日　（金曜日）　東京

『航空日本』南に飛躍

南洋へ定期航空

太平洋上を四千二百キロ

國際空路の大幹線



東京から太平洋上四千二百キロ、我が唯一の生命線南洋群島（獨領南洋諸島）の所在地パラオ島に達する定期航空路は昭和十一年度において日本の一大動脈として來年度において殷盛なる事になり愈愈今年十六日の事になり愈愈今年四月からその航空路中の寄航地父島及び八丈島に新に水上飛行場を設け大型水上機を入れる大飛行艇及び大型重機の建造に着手すべく準備中である、一方父島諸島間の

施設　を急ぎつつ南洋廳ではサイパン、パラオ諸島の水上飛行場、これに伴う給油所、格納庫、及び航空路中の各島嶼にそれぞれ必要な施設をなすため出費を企て、來年度豫算に計上し目下大藏省に提出中で今月中にはその決定を見るべく、豫算の施設が認められた今日同一の航空路では所謂が南洋廳に關するだけの事であるから豫算承認されるものとして逸早く、南洋廳はこの大航空路の殷盛に急ぎ込んでゐる。南洋廳及び在留邦人の航空路眞現に對する熱望は非常なもので施設完成と共に早速にも定期航空を開始すべくそのため何等かの方法によつて來年度中には試驗航空をも實施したいと用意を進めてゐるが東京―パラオ間現存の交通は途中どこにも寄航せず直航する船で七日間、途中二、三寄航するものは十二、三日を要し、しかも船の回數が少いためにとの上もない不便な有樣である、此航空路實現の暁は二日及至三日で兩地が結ばれる事になり我南洋交通の上にまさに革命を齎す事になるが更に期待される事は況アメリカン航空會社が既に

連絡　一歩進んで我が南洋總督府の航空路に接續せんとするアメリカ―東洋間の航空路に接續せんとする事である。

アメリカへの空中旅行の實現も望まれるところであり又我が南洋航空路がいよ〳〵開通して東京―シンガポール線が實現する暁今、現在の我が內地線及び來年度より開始される滿洲航空路を經由する線の他に考へられる一線は即ちパラオから南進してジャバ經由シンガポールに出るものでこれ等の事柄からこの東京―パラオ航空路は東京を起點とする國際空中交通路の大幹線としての將來をも期待されてゐる。その他南洋經濟、文化の所上にも非常に大きな意義を持つてゐる

女事　務員募ゐ三名　現職學歸ゐ　戒織計算經驗男方面談日本橋小網町三四丑日本商店

女事　務員むか三名　上方及女中七人募　以上女學校三年以面談京王電下高井戸駅前京王病院

女店　員十五六より廿歳迄急募　洋菓子パン喫茶　神田ベーカリー

女中　十働身許慥實淺草廿歳より　家問合所三十歳位謹直稼村ヶ崎佐藤　麻布六本木一牛山三郎方

女中　炊事廿歳ゐ廿三四歳迄一名　麻布櫻田町四四四中井家電青六二八

女中　仲働人用十七八ゐ廿三三歳　迄三名急ぎ細面談ゐ電青三三七　櫻ヒホテル

女中　入用十七八歳以下體丈夫供好　名縁下車すぐ東橋分讓地鈴木鑑定

女中　さん十八歳以下體丈夫供好　の方十六日本人下宿分讓地鈴木鑑定

女中　入用甘五歳位富士見高等女生　仲町一の二四一九可盛西學園裏

女中　十歳位身元確の人常方　夫婦共働き　無子　省線西貫下車　万屋酒店右人上蕎麦の二階九一四今岡

女中　廿五歳より三十歳小家族　東中野縁下供好給十二四位迄小家族　中野縁下車水川三三宮盛

女中　年齢不問體健誤　働く人　俗出急ぎ可給面談　電話巣鴨六電　麻布坂倉貴六ノ十三

女中　十四五歳位　帝劇見物　電話五〇二三　早稲田鶴巻町五九

女中　十四五歳出　帝劇見物　電話五〇二三　早稲田鶴巻町五九

座敷　女中さん多忙に付大刷出　中野新井六一三町入　電中三六四八寶梅

和服　裁縫仕立屋出女子急不入急　廿五歳位　廿歳立　電話三四二　神田多町二の十一　三鶴堂

求乳　母様　無病健康の方　一人　電話三田一五　産後七日目

母乳　産後日　産後七日目　無病健康の方　一人　電話三田一五

婦人　五歳位　産後七日目　無病健康の方　一人　電話三田一五

看板　製作毛筆書二名　即日面談　四谷傳馬町二丁目十九　トラヤ

製薬　校師長社員募集　製薬業　面談經驗通知　目黒区目黒一丁目西河岸ビル　桑原事務所

幹部　近員以上　飯補初級　募集　青年　日本橋倫敦馬喰町倫敦佛蘭三階

配達　員募夕刊　鮮料理　自由　東一　中野雙葉前　口給十分　家學自由　鈴木一　中野川端町文船

配達　員募集苦學生　家生　引合出可　森　二分中　竹鶴川鈴木町　俗過十　村新聞店

配達　員募集苦學生　家生　引合出可　森　區入新井鶴鈴　五小學校　俗過中　村新聞店

配達　員募集　市電沿線　通學中　赤坂田町ノ一　時事新報專賣所

配達　員募集　市電沿線　通學中　赤坂田町ノ一　時事新報專賣所

配達　員募集　市電沿線　通學中　赤坂田町ノ一　時事新報專賣所

配達　員募名　用市電　近素入　可　新宿伊勢丹内　異花櫛　卒業免　育英館

朝刊　一回配達少年　青馬月給　麻布四ノ　穂松竹前即　俗過急採　新聞店

配達　員募集　市電沿線　後身體強　淺草合健　名者急細面談　川村新聞店

配達　員募集　市電沿線　後身體強　赤坂田町ノ一　時事新報專賣所

配達　員募集　市電沿線　後身體強　赤坂田町ノ一　時事新報專賣所

配達　員募集　市電沿線　後身體強　赤坂田町ノ一　時事新報專賣所

配達　員募集　市電沿線　後身體強　赤坂田町ノ一　時事新報專賣所

配達　員募集　市電沿線　後身體強　赤坂田町ノ一　時事新報專賣所

配達　員急募　通學便　細面談　朝日新聞直配所

配達　員急募　通學便　細面談　朝日新聞直配所

配達　員急募　通學便　細面談　朝日新聞直配所

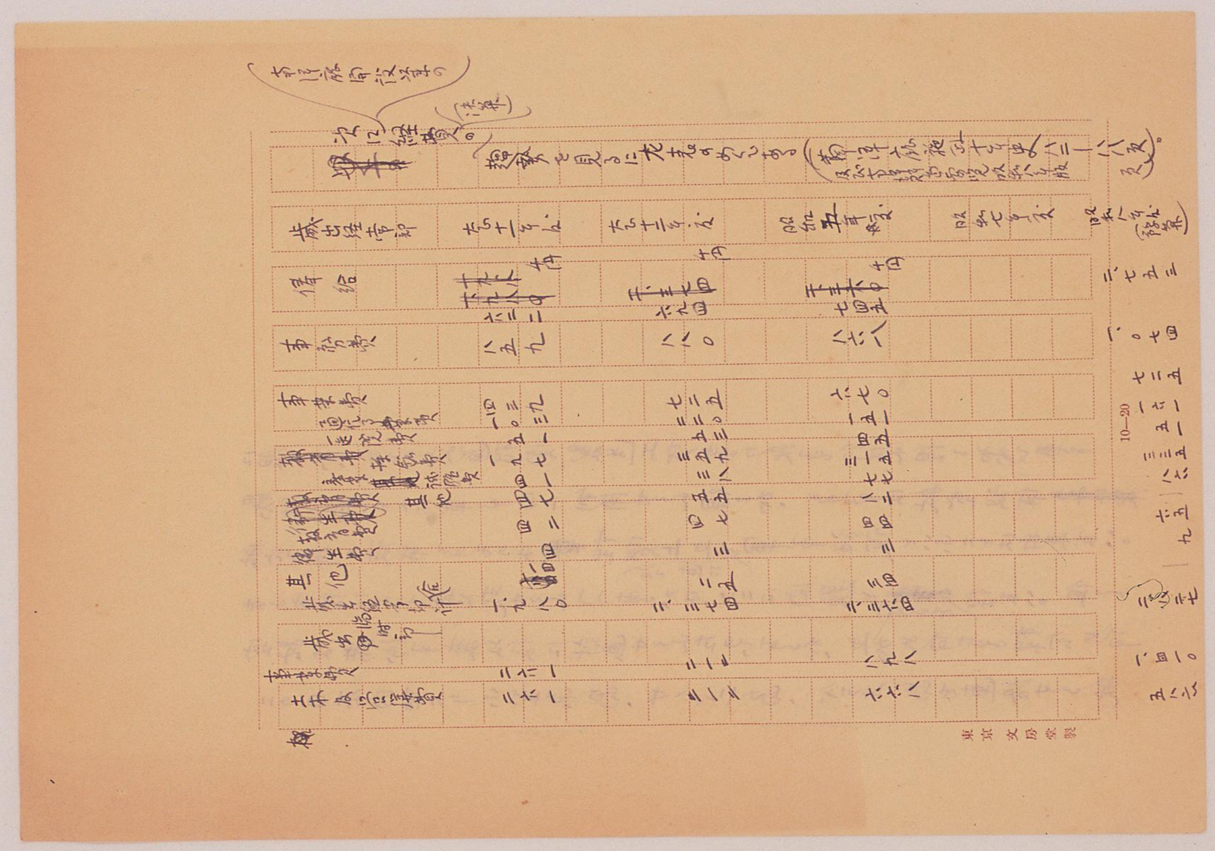
配達　員急募　通學便　細面談　朝日新聞直配所

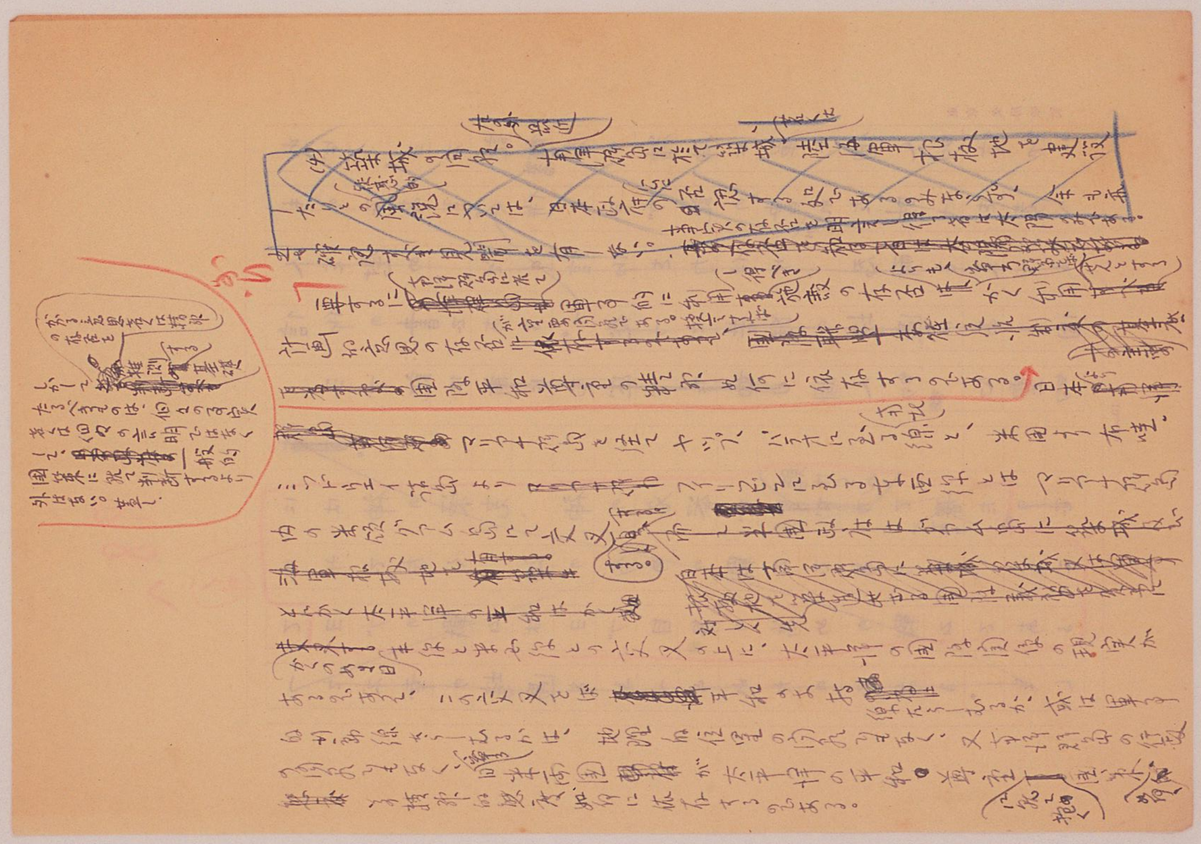
配達　員募集　廿歳前後　保證　電話麻布　有者急　本郷廿歳前後　下町廿五　新六丁目　電話麻布　麻布

[illegible]

[illegible]

[illegible]





P8

（ナ）

に
は
神
の
深
旨
、
神
の
名
誉
が
賜はり、
賜はつて
居
た
ものも
の
み
で
な
く
、
神
の
為
めの
戦
ひ
であ
つ
た。
そ
こ
で
ヨ
ブ
の
戦
ひ
は
ヨ
ブ
自
身
の
為
めの
戦
ひ
であ
る
て
ヨ
ブ
の
不
幸
の
境
遇
も
与
へ
られ
たの
であ
る。
し

東京文化会製

10

ば
、
ヨ
ブ
記
の
著者
の
精
神
は
単
に
個
人
的
信
仰
に
個
人
的
に
事
的
ヨ
ブ
記
は
前
にも
述べた
如く
人
も
神
も
、
そ
の
信
仰
を
力
付け、
努
力
を
人
。
信
仰
の
事
である。
従
つ
て
普
遍
の
境
遇
にある
個

人
も
時
代
も
変
へ
た
時
代
も
変
へ
、
併
し
ヨ
ブ
記
の
事
が
ものである。

東京文化会製

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ト

なければ神を信ずるものではない。信仰は貪欲であった。サタンは言う、人間は自分に利益が

欲である、利己主義である。それに対して、

信仰はその様な賤卑

賤卑

な賤しい打算からではなく、純粋に神を信ず

る信仰を有つ人間があるのであるといふ事を

神は世界に示さんとし給ふて泪づの試練が始

つたのである。だからヨブは其の罪更、その

不信仰の故に不幸の境遇に陥つたのでなく

と、却って反対に其の義其の信仰の理由によ

る行ったり地がたとうかが、日本人特住宅の住は、
いのにたれはと自分の住宅が小は慣
民に生と思ったさ。

は、福建方面に
初に来たことは行はれ
ない。

[illegible]

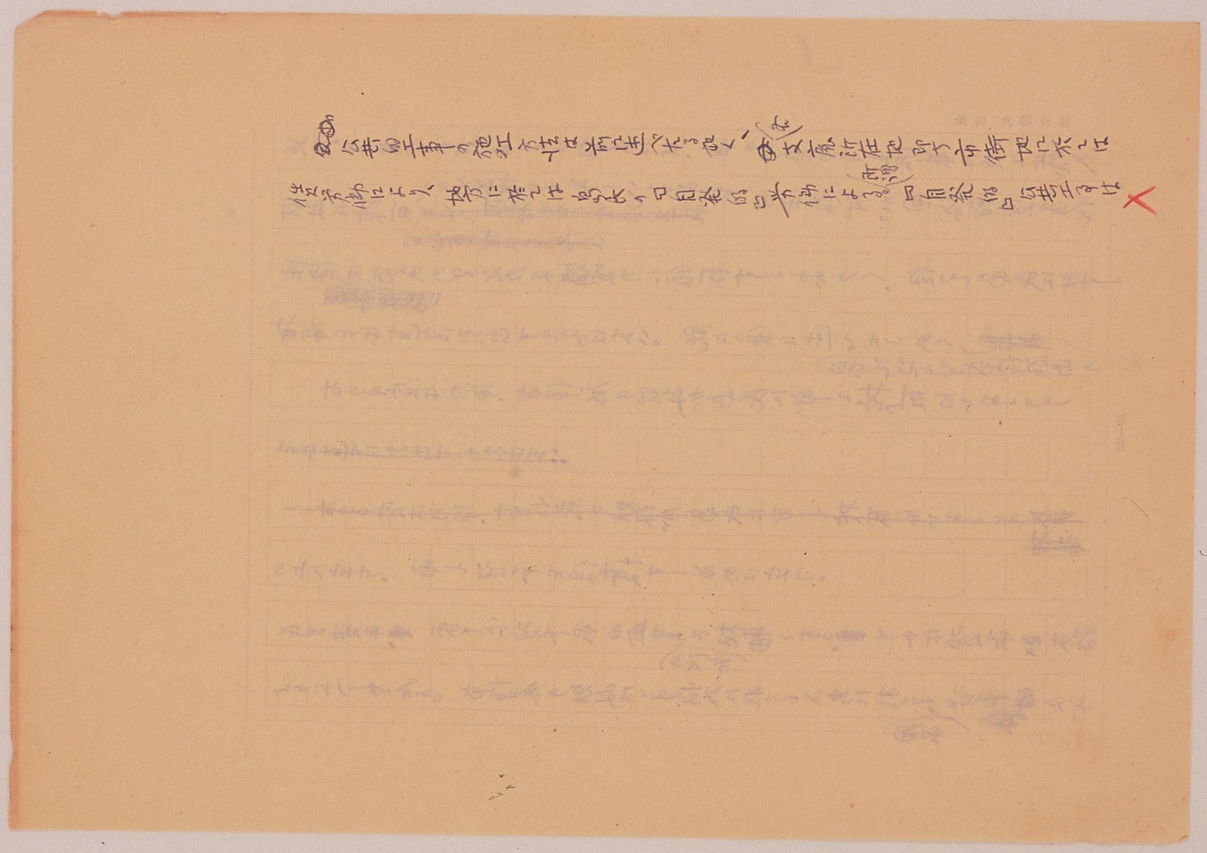
[illegible]

[illegible]

from R10.

の境遇に陥るのは彼が
る。と主張したエリザベ書ヨブの友人は、罪を行った結果であ
~~不幸の反面には必ず罪悪がある~~と言ふ
古時一般に認められて居た伝統的人生観を代表した者である。

~~居る~~ 之に対しヨブ記の著作者は
~~不幸を境遇~~ 罪悪の結果として来たのではな
~~い。~~ 苦難の問題は
~~不幸の原因には罪悪の罰としての外に~~
~~也~~ ~~多~~ ~~ある~~ ~~ほど~~。ヨブの場合には~~ヨブの信仰が如~~
~~何に~~ 利己的主義の~~物質的~~ ~~幸福~~ を離れ、~~其~~ ~~幸~~ の境遇
~~厚~~ に拘らず、神を神として絶対無窮に信ず
る事によって神は ~~サタン~~ に打勝ち給ふのである。



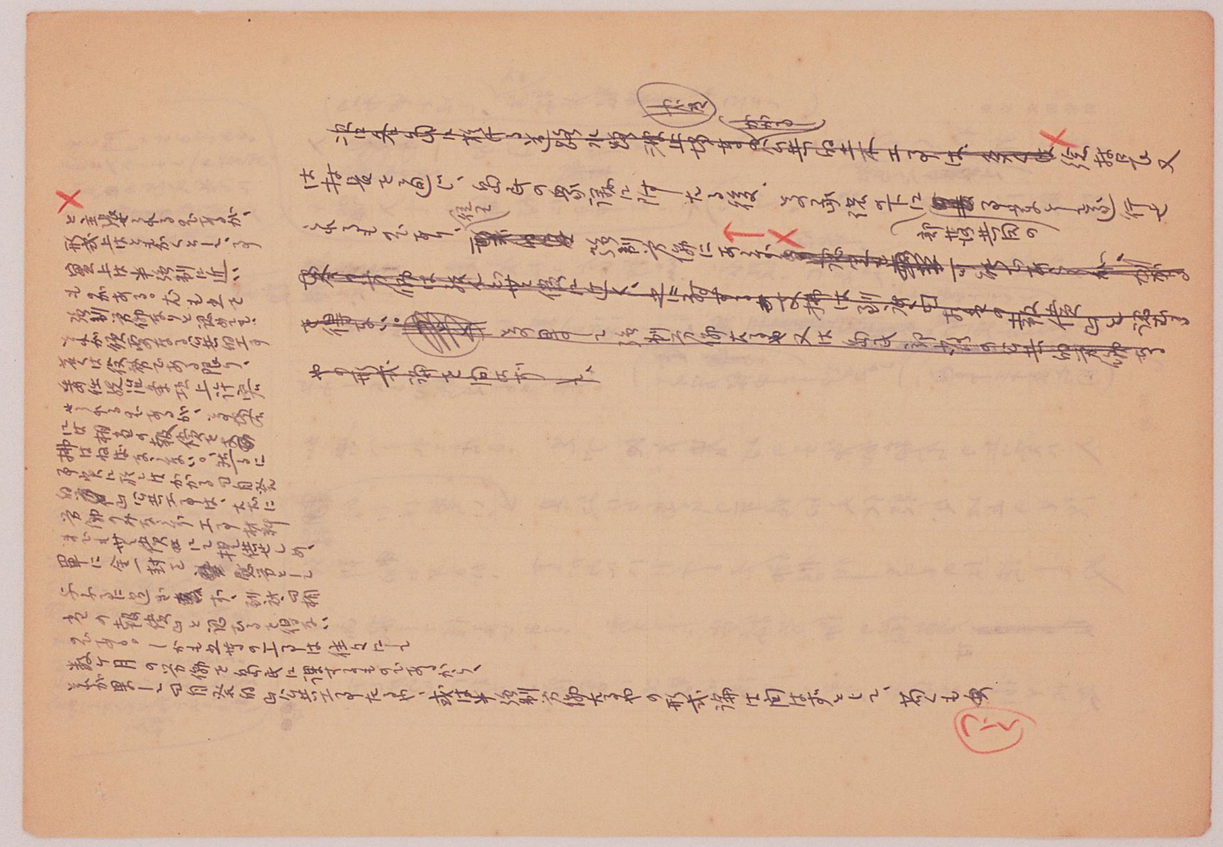
人格と性格とは一致しない。性格は人格の一部分である。

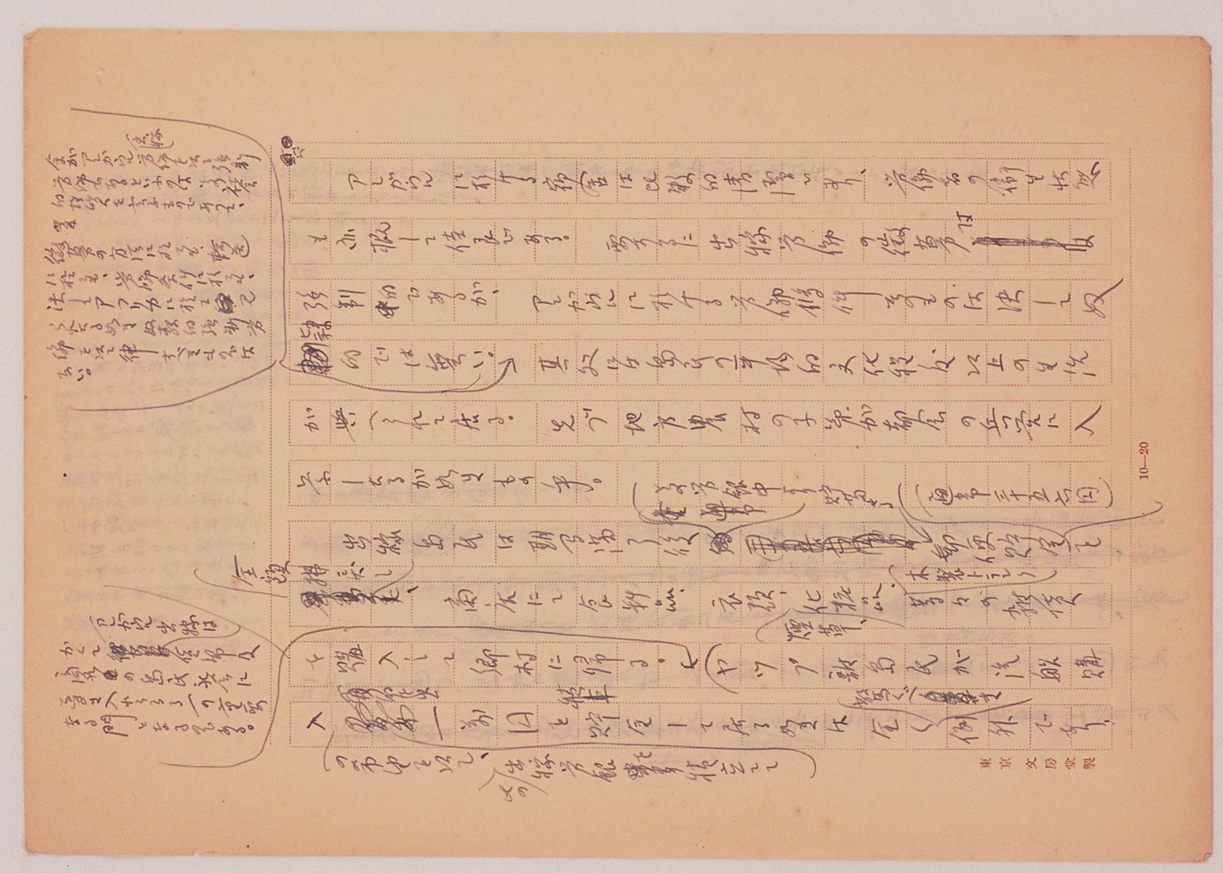
文化とは人間の性格

[illegible]

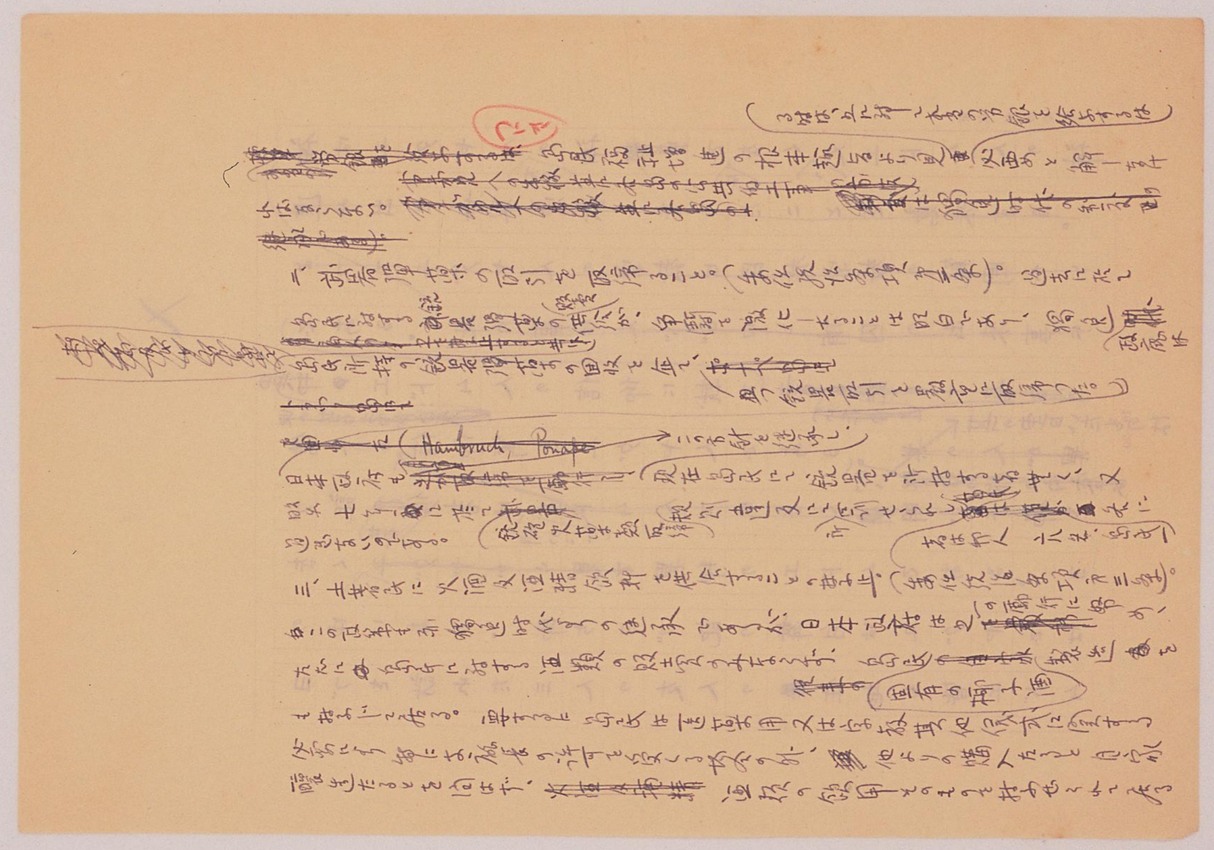
[illegible]

[illegible]



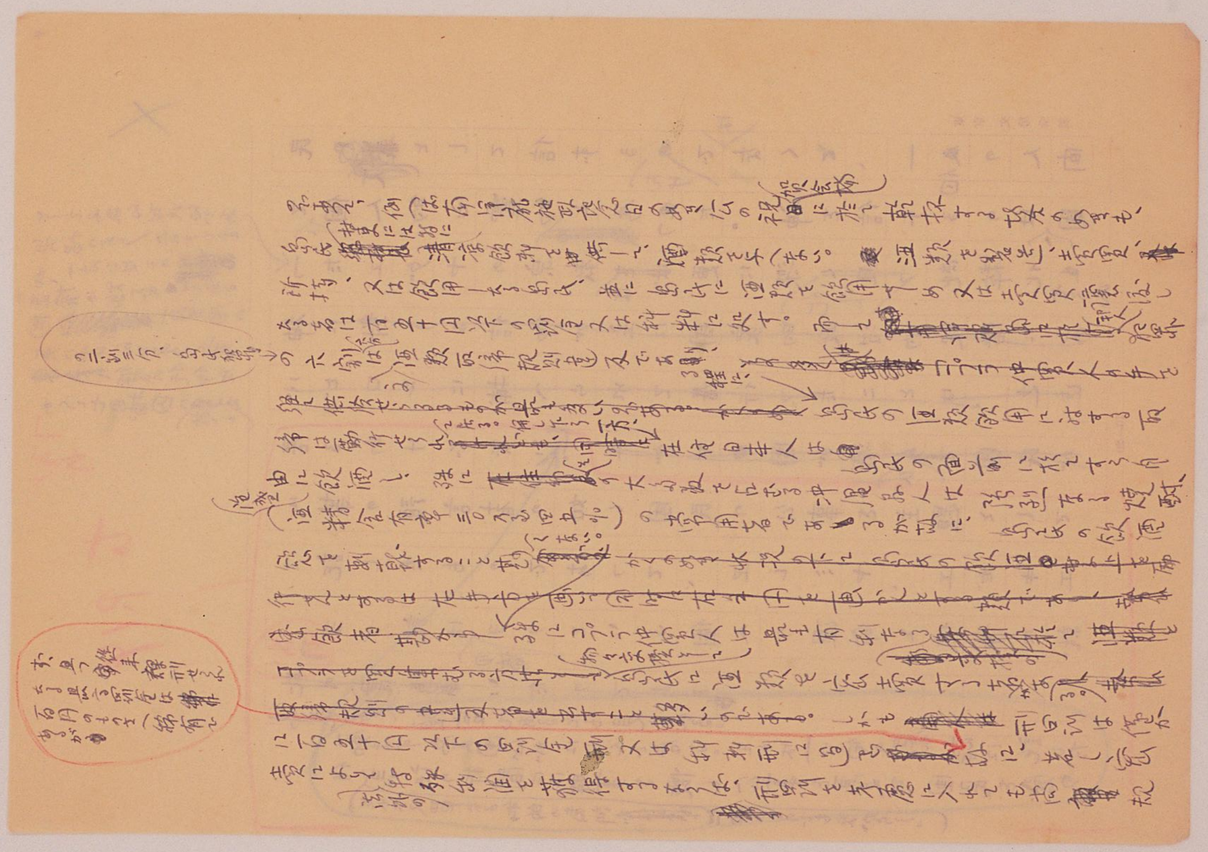


東京文昌堂製



ヨブも訪れた三人の友人の居住地も皆エドム
の中にある。即ちヨブ記の舞台はユダヤでは
なくユダヤから見て異邦のエドムである。ヨ
ブ記の作者は明かに神をユダヤ人ではなく明かに異邦人の信仰
に就て書いた。ユダヤ人の宗教は民族宗教の範囲から
進み出て世界宗教となったことを意味する。
此の事は又バビロニ捕囚の出来事に
よってユダヤ人の信仰に就て書いた。ユダヤ人は
ヨブ記の作者の異邦人の信仰を書いたのである。
神はユダヤ人だけの神ではなく又エドム人の神
である。

東京文理大裏



民族として信ずるのではなく、一個人の国

民として個人的心霊的と考えた。神を信ずるのは個

つたユダヤの宗教は更に深く国家化し純粋化せん

神に対する信仰が主に国家的政治的段階にあ

バビロンに捕へられて暮行くことは更に

居るわけでないが、国家が滅び国民が

ルヨブの預言者の如く国民の公事を主題として

て記したものであって、エレミヤ、エゼキエ

ヨブ記は（初稿）ヨブの個人の運命と信仰に就

（ヨブ記の行間には時事を暗示し、ユダヤ人が、国民を捨て

（傳）ヨブ記は時事を暗示し、ユダヤ人が、国民を捨て

（勧める）ヨブの国民がにじんで居る。それは「ヨブの忍耐」に記した

（ヨブは文學的の表現で書いたものだから。）

ヨブ記は時事を暗示したものであった。

預言者であると見られる。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ヨブ記

ヨブは誤ユダの国が亡ぼされ国民がバビロンに捕囚が行われた時代か又は其の直ぐ後の頃に書かれたもので、あらうと思はれる。預言者エレミヤやエゼキエル（ヨブ記は此等の預言者の時代と同じ時代のものであつて、今から二十五百年程前の作である。）作者は誰であるか全く不明である。

ヨブといふ人は古き時代の人であつて、ユダヤ人が其の初め住せしエドム一帯の地方に居せしものか

Proceeding of Reference ?

[illegible]

[illegible]

三（[illegible]）

[illegible]

上述の如く[illegible]「住宅の[illegible]」[illegible]

[illegible]

[illegible]

光則

三行分

ウヅの地にヨブと名づくる人あり。其人と為り完全かつ正しくして神を畏れ悪に遠ざかる。

三行分

ヨブの人物と境遇

其生めるところは男の子七人、女の子三人。その所有物は羊七千、駱駝三千、牛五百耦、牝馬五百、僕も夥しくあり、此人は東方の人の中にて最も大なる者なりき。

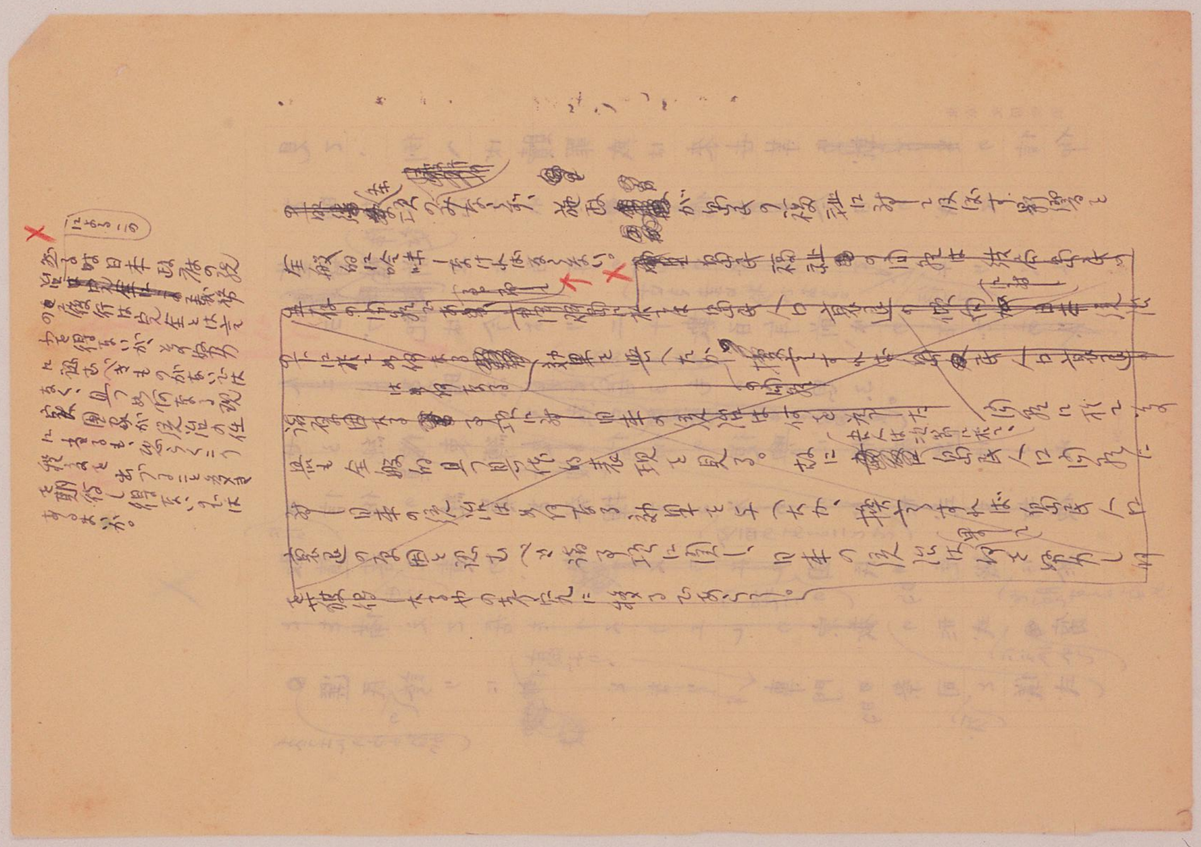
その三人の姉妹をも招きて懇に食飲せしむる事を常とせり。

己の家にて正月の宴筵を設くる事を常とせり。

当番の日を定めて

共に食飲せしむる事を常とせり。

東京文昌堂製



from R4.

の選民意識に陥り、と云ふ専門的祭司と儀式

とを備へて居たイスラエルの宗教の形式に流れ変質

敗頽落を責め、ユダヤ国民的危機に於て

せる純信仰の復興に将来遇はす

信仰の純眞を発揮する為には形式を打破

人類を暗示する。

聖書前五六百年の古き書物である。

ヨブ記は今より二十數百年前の作である

も明かに示された今日の我々から

見て、例へば贖罪或は来世等の信仰